＜コープ・ノース21＞ 三沢のF−16、3か国演習のために南下（1）

Misawa F-16s head south for trilateral exercise

February 3, 2021

By Senior Airman Brieana Bolfing
374th Airlift Wing Public Affairs

（写真1）1月29日、日米豪共同訓練「コープ・ノース21」に備え、横田基地のフライトラインで待機する三沢基地第13・第14戦闘飛行隊のF−16ファイティング・ファルコン。

「コープ・ノース21」は、インド太平洋地域全域の安全と安定の促進に向けた米国の意思を表し、地域の同盟国やパートナーとの関係を強化する。

1

（写真2）誘導路を地上走行する三沢基地第13戦闘飛行隊のF−16ファイティング・ファルコン。

この演習は、インド太平洋地域全域の安定と安全保障を推進するための重要な演習として年に1度行われている。

2

（写真3）横田基地のフライトラインに進入する三沢基地第13・14戦闘機中隊のF−16ファイティング・ファルコン。

航空作戦を共同訓練する「コープ・ノース」の歴史は40年以上に渡る。

3

＜コープ・ノース21＞ 三沢のF−16、3か国演習のために南下（2）

Misawa F-16s head south for trilateral exercise

February 3, 2021

By Senior Airman Brieana Bolfing
374th Airlift Wing Public Affairs

（写真4）1月29日、日米豪共同訓練「コープ・ノース12」の準備のため、横田基地のフライトラインに進入する三沢基地第13・14戦闘飛行隊のF−16ファイティング・ファルコン。

「コープノース21」は、太平洋地域におけるアメリカ同盟国との作戦準備態勢を強化するために太平洋上の実践的な環境で毎年行われる日米豪3カ国共同訓練である。

4

（写真5）横田基地にF−16ファイティング・ファルコンで到着し、ハンドサインを送る三沢基地第35戦闘航空団のパイロット。

このF−16チームは、インド太平洋地域の同盟国と相互運用性の向上を目的とする日米豪共同訓練「コープ・ノース21」の準備のために横田に到着した。

5

（写真6）横田基地を離陸する三沢基地第13戦闘飛行隊のF−16ファイティング・ファルコン。

共同訓練「コープ・ノース21」は、日米豪の相互運用性を強化する目的で、戦闘航空部隊の大規模な部隊配備と機動性に重点を置いている。

6